

# 令和7年度

## 幼保小中の連携状況について（報告）

- ◇中学校ブロック内の取組について 1～11
- ◇中学校ブロック内の交流事業等について 12～34

ブロック名	ページ	
	ブロック 内の取組	交流事業
第一中学校区	1	・ 12-13
第二中学校区	2	・ 14
第三中学校区	3	・ 15
第四中学校区	4	・ 16-19
第五中学校区	5	・ 20-21
塩田中学校区	6	・ 22-23
第六中学校区	7	・ 24-25
丸子中学校区	8	・ 26-27
丸子北中学校区	9	・ 28-29
真田中・菅平中学校区	10	・ 30-32
依田窪南部中学校区	11	・ 33-34



上田市教育委員会  
上田市健康こども未来部

# 令和7年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名		第一中区		構成園校	第一中学校、神川小学校、東小学校、東部保育園、神川保育園、国分保育園、常田保育園、聖マリア幼稚園、大屋幼稚園、上田いずみ園	
役員	7年度	会長	第一中学校	副会長	聖マリア幼稚園	
	8年度	会長	神川小学校	副会長	大屋幼稚園	

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)明るいあいさつが、自分から進んでできる園児・児童・生徒を目指す (2)東小・神川小・第一中は、第一中の中間・期末テスト前1週間(年4回)を「メディアコントロールウイーク」とし、ゲームやネットのスイッチオフを目指す (3)幼保小中共通の、学習および集団生活の土台をつくる (4)幼保小・小中接続・連携のための情報交換を積極的に行っていく	・幼保小中でメディアコントロールについて連携して取り組むことで、保護者・地域への啓発を継続的に重ねたい。 ・園長・校長が互いの実践について知り合い、どのように子どもの育ちを支えるか考え合う機会をもつことは、連携した支援の基盤として欠かせないと認識を深めた。	○
取組	(1)あいさつ運動の推進 ・「あいさつ旗」(一中区の校長会作成)を門や昇降口に立て、意識後方を図る(必要に応じて作成する) ・あいさつなどを通じてより良い関係や清らかな風土を養うようにする ・家庭通知やHPなどで、保護者や地域の方にも啓発する	・職員が意識的に子どもたちに声がけをしたり、保護者や地域への啓発を行ったりすることの大切さを共有した。	○
	(2)メディアコントロールウイーク ・主として小中で共通の時期に設定する ・ネットトラブル防止・ネットリテラシーの向上に係る学習を、意図的・計画的に行う (「スマホ・タブレット・ゲーム機に関するアンケート」結果の共有と分析・活用) (PTAなどでの研修会)	・園だよりなどで具体的に「スイッチを切って何をするか」伝えるが、メディアの誘惑になかなか勝てないようだ。 ・ゲーム依存、スマホ依存、テレビ依存は、いけないと言う事は頭ではわかっているがやめづらい。しかし「幼保小中連携で行っていることにとっても意義があり今後も続けて下さい」という意見を大事にして、取組を継続したい。 ・毎年、PTAの活動(講演会)にもテーマとして取り上げられており、保護者と共にメディアコントロールについて考えることができた。引き続き、取り組んでいきたい。 ・ノーメディアチャレンジカードは、毎月、最初の木曜日に、各家庭で取り組んできた。それぞれ、工夫した取り組みが見られた。	○
	(3)学習集団・生活集団づくり等に係る情報交換 (4)接続にかかわる情報交換 ・参観を通して、園児・児童・生徒の学びの姿を把握し、具体的な姿をもとに日頃感じている課題について検討する ・困り感を抱える子ども(保護者)への支援について情報交換する	・校種間の情報交換は、各校園の実践を省察したり再構成する機会ともなりありがたい。 ・実際に子どもの姿を参観し、支援などについて意見交換をする中で、支援を必要とする子どもなどの情報や取組について具体的に共有が進み、よい。 ・意見交換をしながら、それぞれの現状を知ることができた。園・小接続カリキュラムに基づいた「学びの改革」の実践に向け、連携し取り組んでいきたい。 ・民生委員の方と意見交換をしてお力添えいただき、地域の方との交流や繋がりが増えている。 ・メディアに関する講演会等で啓発活動を行っているが、多くの方々に正しい知識を持っていただくためには、どのようにしたら良いのか考えていきたい。	◎

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月24日 (火)	真田中央 公民館	・活動目標・取組・年間計画について協議 ・各校園の情報交換
2	9月3日 (水)	神川保育園	・参観および情報交換
3	12月16日 (火)	第一中	・参観および情報交換 ・取組状況の省察と次年度の取組について

## 令和7年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名		第二中学校区		構成園校	第二中学校/清明小学校/塩尻小学校/南部保育園/梅花幼稚園/聖ミカエル保育園/あそびの森あきわ/塩尻保育園/キッズうえだみなみ	
役員	令和7年度	会長	第二中学校長 加藤 浩		副会長	塩尻小学校長 水沢 博昭
	令和8年度	会長	塩尻小学校長 水沢 博昭		副会長	清明小学校長 竹内 仁一

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)「挨拶・返事・靴揃え」による豊かな心の醸成 (2)「メディアコントロール・子ども中心の日」情報の有効活用と自己制御力の向上 (3)「遊びと探究的な学び」による好奇心と探究心の醸成 (4)「子どもの主体性と伸ばす交流活動や体験活動」の充実	(1)毎日の日常的な行動のため、習慣化し気持ちよく生活ができるように雰囲気をつくった。褒めて良さを感ぜられるようにし、継続的な取り組みとしたい。 (2)取り組みの仕方は、各家庭によって違いはあるが、子どもたちにとっては良い機会になっている。また、保護者にとっても日常生活を振り返る機会となり、子育ての有意義な時間になっている。 (3)(4)入学に向けて情報共有を行い、その中でどんな支援が必要かを検討して、日常の取り組みに反映することができている。今後も、幼保小中での連携を大事に取り組みを進めたい。	◎
取組	(1)「挨拶・返事・靴揃え」による豊かな心の醸成・各学校・園の実状により年間を通して指導するとともに、地域・家庭へも折に触れ発信する。	(幼保)日常的に挨拶・返事・靴揃えの指導を行っている。特に職員が園児の名前を呼びながら挨拶することで、園児もそれに応える姿がある。相手意識のある挨拶に心掛けていきたい。 (小)管理職から職員会議や校長講話で職員や児童に投げかけたり、問いかけたりしながら実践の促進をしている。全職員で意識を高くしながら、自分から挨拶する児童を育てていきたい。 (中)挨拶、靴揃えについて、生徒会で大切に、柱となる活動に据えて取り組んでいる。やや形骸化している実態から再度、全職員で意図的な指導をするようにしている。	○
	(2)「メディアコントロール週間・子ども中心の日」の実施による情報の有効活用と自己制御力の向上 ・第二中学校の期末テストの期間に合わせて実施している。今年度は、6月下旬と11月中旬に実施した。	(幼保小中)週間として位置づけることで、親子の会話が增えたり、子どもの成長に気づける場面が多かった。無理のない時間帯で各家庭のペースで取り組んでいる様子が見え、良い機会になっているものとする。また、取組の様子を発信することで、次回の取り組みに取り入れてくださる家庭もあり、実施と振り返りの効果的な活用ができていたものとする。	◎
	(3)「遊びと探究的な学び」による好奇心と探究心の醸成 ・園における保育、小中学校における授業を参観し合い、子どもの好奇心や探究心を高めるための実践や取組の情報交換を行う。	(幼保小中)それぞれの発達段階に合わせた支援方法を実際に参観することにより、個を大切にされた支援のあり方を共有することができ、自らの実践を省察する貴重な機会となっている。今後、参観だけでなく互いのカリキュラムについて情報交換することで、子どもの好奇心や探究心をさらに伸ばすための新たな取組を見いだしていきたい。	◎
	(4)「子どもの主体性と伸ばす交流活動や体験活動」の充実 ・各園、各校で交流活動・体験学習等を計画・実施する。また日頃の情報交換や意見交換を積極的に行い、園児や児童・生徒の理解を深め、幼保小中の接続のあり方の検討する。	(幼保小)年長園児と小学1年生の交流を通して、園児は小学校への期待をもつことができ、児童にとっては、お兄さん、お姉さんになる自覚をもつことができる、とてもよい機会となった。 (小中)中学校での体験授業や中学校説明会は、小学6年生にとって中学校を知り、期待をより膨らめたり、不安を軽減したりすることができる。文化祭への参加は、小学6年生も楽しめる時間になるようさらに工夫したい。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月14日	第二中学校	○第二中学校の授業参観・感想 ○各校の取り組みの重点等の共有 ○幼保小中の連携(共通の取組・連携の具体的な計画等)について協議 第2回の確認 ○各校・園の情報交換
2	11月12日	塩尻保育園	○塩尻保育園の保育参観・感想 ○幼保小中の連携について ○「子ども中心の日」(第1回メディアコントロール週間)の実施状況確認 第3回の確認 ○各校・園の情報交換
3	2月2日	塩尻小学校	○塩尻小学校の授業参観・感想 ○本年度の反省及び令和8年度年間計画について ○各校・園の情報交換、来年度の取り組みについて

# 令和7年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名		第三中学校区		構成園校	三中 北小 西小 上田幼 認かんぎおん 甘露保 たちばな幼 北保 認芙蓉園 蓮の音こども園		
役員	7年度	会長	西小学校長		副会長	第三中学校長	
	8年度	会長	第三中学校長		副会長	北小学校長	

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	<p>「小1プロブレム」「中1ギャップ」などの校種間接続問題について 「文科省「幼保小の架け橋プログラム」について」</p> <p>1. 子どもの安心した移行を実現 幼稚園・保育園・こども園から小学校、さらに中学校への進学時に不安や混乱を最小限にし、安心して次のステージへ進めるようにする。 2. 発達の連続性を保障 乳幼児期から小学校低学年への学びや生活の接続を滑らかにし、無理のない発達支援を行う。 3. 地域全体で子どもを育む仕組みづくり 幼保小中の連携を強め、保護者や地域と協働することで、地域ぐるみの子育て環境を整える。</p>	<p>幼保小中の教職員が共通の視点で相互参観を行い、発達の連続性への理解を深めたことで、校種間の「段差」を解消する強固な連携体制が構築されつつある。 これにより、幼児期の学びを小学校へ円滑に引き継ぐ「架け橋」が機能し、児童生徒の進学に伴う不安や混乱は大幅に軽減される道筋がついた。 地域全体で子どもを育む意識も醸成され、一人ひとりの発達段階に応じた、安心感のある切れ目ない支援体制を実現する方向性が示され、成果を得ることができた。</p>	◎
取組	<p>① 定期的な情報交換・研修 ・幼稚園・保育園・小学校・中学校の先生同士で年3回の情報交換会を実施 ・架け橋プログラムや発達段階に関する研修</p> <p>② 交流活動の推進 ・年長児と小学1年生の交流活動(学校探検、合同遊び、読み聞かせなど) ・中学校の生徒や小学校の児童が園を訪問する活動(お兄さん・お姉さん役割)また、園児が逆に訪問する活動</p> <p>③ 教材や指導内容の連続性確保 ・幼保の遊び・学びの要素と、小学校教育を結びつけるカリキュラム調整 ・学校独自の「スタートカリキュラム」の運用・改善</p>	<p>本年度の取り組みにより、校種を越えた「教育の連続性」が着実に構築された。年3回の情報交換や研修を通じて発達段階への共通理解を深めたことで、カリキュラムの円滑な接続が可能となり、園児の入学に対する不安軽減と意欲向上に繋がった。</p> <p>特筆すべきは、交流活動が児童生徒の自己有用感を大きく育んだ点である。特に、園児と関わる中で普段はやんちゃな5年生が、相手を思いやる優しさや責任感に満ちた姿を見せるなど、精神面での顕著な成長が確認できた。こうした双方向の交流は、単なる知識の習得に留まらない「豊かな人間性」を育む契機となり、地域全体で子どもを育てる体制をより強固なものとした。</p>	◎

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月5日	西小学校	・授業参観と感想 ・各園各校のグランドデザインから、今年の運営の重点について ・幼保小中連携の重点について 課題とアクション
2	11月10日	第三中学校	・授業参観と感想 ・6月以降の各園各校の子どもたちの様子 ・連携の重点への取り組み状況についての情報交換 ・特別な支援を要する園児・児童生徒の情報交換
3	2月2日	たちばな保育園	・保育参観と感想 ・移行支援会議の推進にかかわって ・令和7年度 幼保小中連携の取り組みについての反省・来年度の連携の重点について ・令和8年度の開催日の決定・年間行事の日程調整

## 令和7年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名		第四中学校区		構成園校	四中／城下小／南小／みのり保／城下保／下之条保／上田南幼／三好町保	
役員	7年度	会長	第四中学校長		副会長	みのり保育園長・城下小学校長
	8年度	会長	城下小学校長		副会長	三好町保育園長・南小学校長

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	<p>幼保小中の接続をどうするか、幼保小中で連携して育てていきたい力について、参観や話し合いを通して、現状を見直していく。</p> <p>①基本的習慣・生活リズムの確立における連携 ②支援を必要とする子どもについての連携 ③幼保小中のスムーズな移行のための取組</p>	<p>①各校、各園ともに「子どもの主体性」を重視していることから、共通の目標として取り組むことが確認できた。引き続き、各校の取り組みなどを情報交換していきたい。②アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの移行について情報交換できた。③情報を確実に引き継ぐこと、対応はできるだけ小さい段階で行うこと。</p>	○
取組	<p>(1)参観を通して先生方の子どもたちとの関わりから学ぶ。 第四中学校の授業参観(第2回) みのり保育園の授業参観(第3回)</p>	<p>①授業参観で、子どもたちの学ぶ姿勢、教職員・保育者の動きや言葉かけ、教室・保育環境などを、自園や自校の様子と比較しながら参観することで、自園や自校のあり方を振り返ることができた。 ②所属長の話から、園や学校で大切にしていること、子どもの実態、指導や支援の困難点や工夫等について学ぶことができ、自園、自校の運営に生かすことができた。 ③発達段階に応じて大事にしていることがわかり、確実に繋げていくこと重要さを改めて確認できた。 ④本年度は、保育園、中学校の両校園の参観ができた。幼保小中連携のあり様を子どもの姿や学びの様子から考えることができた。</p>	○
	<p>(2)幼保小中の接続という点からの情報交換と話し合い</p>	<p>①幼保小中連携、今年度は特にアプローチカリキュラムからスタートカリキュラムへの連携について考えることができた。遊びを中心とした学びをどのように見つめ、何を見出し小学校の学びにつないでいくか、より考えていくことを確認した。 ②教育環境に係り、子どもの発達段階に合わせた教材のあり方、教材の持つ可能性等について、議論を深めることができた。また、小学校、中学校において、不適応不登校傾向にある児童生徒が増えていることから、幼保における子どもの様子をうかがった。その中で、子どもたちが安心して生活を送れるよう、幼保小中の各段階で、子どもの様子や発達障がいの子どもへの対応について、丁寧に十分な引き継ぎをいくことを確認した。</p>	○

※評価      ◎:目標を上回る達成      ○:目標どおり      △:目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6/24(火)	真田中央公民館	①自己紹介 ②年間計画立案 ③情報交換
2	10/27(月)	第四中	①授業参観と参観後の感想 ②幼保小中連携に関わる情報交換 アプローチカリキュラムからスタートカリキュラムへの連携について
3	1/27(火)	みのり保育園	①授業参観と参観後の感想 ②幼保小中連携に関わる情報交換 発達段階に応じた教育環境や教材研究のあり方、子どもたちが安心して生活を送るための支援のあり方について。 ③移行支援会議等の情報の引き継ぎについて ④1年間の反省と次年度の計画

## 令和7年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名	第五中学校区		構成園校	第五中 豊殿小 神科小 あゆみ保 上田北幼 神科第一保 神科第二保 豊殿保 認定こども園にしおか		
役員	7年度	会長	神科小学校		副会長	認定こども園にしおか
	8年度	会長	第五中学校		副会長	あゆみ保育園

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通 目標	《キャリア教育を視点においた五中区の取り組み》 「基本的な生活と心身の健康」 (1)基本的な生活習慣の見直しと確立 (2)特別な支援が必要な子ども理解 (3)連携・交流事業	・連携を大切にし、特別な支援が必要な児童について理解を深めることができた。 ・基本的な生活習慣の見直しや確立につながる取り組みを工夫できたと思う。 ・連携・交流事業では、日常的な自然な交流のほか、小学校のプールに行かせていただいたり、かかし作りに参加させていただいたりして、多くの交流の機会を作ることができた。 ・五中区便りの配布、各園や学校の取り組みと、共通目標に沿った取り組みができ再確認できる良い機会となった。	◎
取組	(1)基本的な生活習慣の見直しと確立 ・運動遊びや体づくり運動の積極的な取り入れ ・誰にでも気持ちのよいあいさつができるような声かけ ・五中区一斉メディアコントロール週間の実施スタート ・SNSの適切な利用について	・メディアコントロール週間では、親子で取り組むカード等の活用により、意識的に親子での関わりやふれあいを持つ機会となった。 ・戸外遊びや「体みがき体操」などの運動遊びを積極的に導入し、体づくりの大切さを意識させることができた。 ・挨拶については、大人が手本を示すことで園・校内や地域で元気な挨拶ができる子が増えてきている。	○
	(2)五中区だよりの配布	・全家庭への配布により、ブロック共通の目標を周知できた。 ・幼保小中が同じ目標で呼びかけることで、兄弟のいる家庭内での目標共有が進んだ。 ・一方で、保護者への呼びかけ方法にさらなる工夫が必要と感じている園もある。	○
	(3)移行支援会議 ・園から小、小から中への参観 (4)特別な支援が必要な子ども理解 ・園児、児童、生徒の情報交換	・早い時期からの授業参観や移行支援会議の開催により、配慮が必要な児童の支援について詳しい情報共有ができ、保護者や子どもの安心感に繋がった。 ・学校の様子を直接見てもらうことで、より深い子ども理解と共通理解が図られた。 ・小学校の様子を参観いただいたりして、より子どもを理解することができた。	◎
	(5)連携・交流事業の充実 ・スタートカリキュラムとアプローチ ・スタートカリキュラムの実施(小学校) ・小6年生の中学校文化祭見学や説明会への参加等の取り組みによる中1ギャップの解消 ・保小連携による小1プロブレムの解消 ・保中交流	・4月中はスムーズに学校生活に慣れるために「スタートカリキュラム」に基づいて小学校生活を送った。 ・学校生活で必要なことを覚えたり、学習は1コマを半分にしたりして無理のない時間割で、楽しく安心して学校生活を送れるようにした。 ・年明けから、午睡時間を短くするなどのアプローチカリキュラムを実施。	○

※評価    ◎:目標を上回る達成    ○:目標どおり    △:目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月12日	神科小学校	・各園・各校での今までの取組の成果と課題について ・本年度の活動方針の決定 ・年間行事やその他の情報交換
2	6月24日	真田中央公民館	・今年度の活動テーマの確認 ・各園・校の様子、情報交換 ・五中区だよりの編集方針について
3	10月23日	あゆみ保育園	・各園・各校での今までの取組の成果と課題について ・特別な支援が必要な園児・児童・生徒について ・メディアコントロール週間の実施について
4	1月30日	神科第一保育園	・参観の感想、各園・校の様子、情報交換 ・今年度の反省と次年度への課題と要望 ・次年度の計画

# 令和7年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名		塩田中学校区		構成園校		塩田中、中塩田小、塩田西小、東塩田小、上田女短附属幼、塩田中央保、塩田北保、西塩田保、東塩田保、おひさまクラブ幼稚園
役員	令和7年度	会長	塩田中学校長 金井 勝久		副会長	塩田西小学校長 中村 斉江
	令和8年度	会長	未定		副会長	未定

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1) 幼保小中の職員・児童・生徒・園児の具体的連携の実施 (2) 園児・児童・生徒の理解と育ちの支援に関する情報交換 (3) 幼保小中に関わるキャリア教育についての情報交換	以下の取組の成果の通り	○
取組	(1) 幼保小中の職員・児童・生徒・園児の具体的連携の実施	○夏休み中等に、小学校職員が保育園に出向き、園生活を体験させていただき、園児の様子を知ったり、小学校のスタートカリキュラムに活かすことができた。 ○園児と児童の交流、来入児の体験入学等再開することができた。	○
	(2) 園児・児童・生徒の理解と育ちの支援に関する情報交換 ①6月24日 園長・校長合同会議で情報交換と今後の計画立案 ②10月29日 塩田西小学校の参観と情報交換 ③1月19日 おひさまクラブ幼稚園の参観と情報交換 ④夏休み～2月 幼稚園・保育園へ小学校職員の参観 ⑤9月～2月 来入児で支援を要する園児の保護者との懇談や園児の体験入学 ⑥年間を通して小中での情報交換	○塩田西小学校では児童の様子を参観するとともに、今後の幼保小中連携、交流について意見交換を行った。また、SNSについてや各幼保小中学校園が大切にしていることを出し合い、互いに学んだ。協議の中で、幼保小中の互いの遊びや学びについての共有や理解について深まった ○おひさまクラブ幼稚園では、恵まれた自然環境の下、園児たちが異年齢でかかわりながら遊びをする姿に学び、様々な活動の参観を行った。情報交換では、各校の取り組みを共有することができた。 ○支援を要する園児の円滑な入学に向けて、情報交換や体験を行うことができた。 ○集団活動についての現状を共有し、小学校新生アプローチカリキュラムを各園と共有、意見交換した。	◎
	(3)「メディアコントロール週間」 ・塩田中学校の期末テストの期間に合わせて実施している。今年度は、5月、9月、2月に実施した。	○年間行事計画に位置付けられている。保護者へは無理のないようにと呼びかけている。継続してきている取り組みなので、保護者に浸透してきている。	○
	(4) 幼保小中に関わるキャリア教育についての情報交換 ・中学校生徒の幼保小での職業体験 ・小学生学級単位での園との交流	○職場体験や交流により、中学生のキャリア教育に生かすことができた。	○

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月24日	真田中央公民館	①本年度の年間計画の確認 ②情報交換
2	10月29日	塩田西小学校	①授業と施設の参観をしてお互いの意見交換 ②来入児について個別の情報交換 ③幼保小中の連携上の課題の確認と改善方法の検討 ④SNSにかかわる意見交換
3	1月19日	おひさまクラブ幼稚園	①幼稚園と施設の参観をしてお互いの意見交換 ②来入児について個別の情報交換 ③幼保小中の連携の必要性と今後の予定 ④遊びからの学び(学習)への移行や各幼保園の遊びの様子について

## 令和7年度ブロック内の取組について

### 1 概要

ブロック名		第六中学校区		構成園校	第六中/川辺小/川西小/浦里小/日向幼稚園/川辺保/泉田保/室賀保/浦里保	
役員	7年度	会長	浦里小学校		副会長	日向幼稚園
	8年度	会長	日向幼稚園		副会長	川辺保育園

### 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)あいさつ、返事、靴揃えのできる子どもを育てる。 (2)生活リズムや決まりよい生活習慣を身につけさせる。 (3)互いの園・校の情報交換交流活動が円滑になるように工夫し、園児、児童生徒の個の支援につながるようにする。	園小中が「育ちと学びの連続性」を柱に共通目標を共有し、あいさつや基本的な生活習慣の定着、円滑な接続、支援の充実に向けて継続的に取り組んだ。参観や協議を重ねる中で相互理解が深まり、子ども一人一人を中心に据えた連携体制が強化され、保護者の安心感の向上にもつながった。	○
取組	1 幼保小中、それぞれの場での課題や悩みなどについて情報交換をし、参観等を通して具体的な取り組みについて共通理解をする。	各園・学校が抱える課題や悩みを率直に共有し、参観や研究協議を通して子どもの具体的な姿や指導の実際を学び合った。アプローチ・スタートカリキュラムの視点から接続期の在り方を見直し、具体的な取組や支援方法について共通理解を図ることができた。	○
	2 個別支援が必要な子、家庭支援が必要な子への援助や連携のあり方について (1)参観や移行支援会議等を通して子どもの実態を把握し幼保小中の具体的な取り組みや支援方法について検討し共通理解する。 (2)保護者理解を得るために、個別参観を行い具体例を挙げた情報交換をし、保護者の支援や対応について検討する。	移行支援会議や個別参観を通して支援を要する子どもの実態を丁寧に把握し、具体的な支援内容や役割分担を検討した。保護者との情報交換も重ねることで理解と協力を得やすくなり、入学・進学時の不安軽減と切れ目のない支援体制の構築につながった。	◎
	3 職員の交流 (1)職員が、保育園や小学校へ行って学校生活や保育体験をする中でお互いの職場の現状を理解し合う。 (2)発達段階の違いを、子どもの活動の実体験から学び合う。 ・就学前担当者が各園を訪問し、子どもの活動の様子や支援について情報を共有することで、入学に向けた準備ができる。	保育体験や学校訪問などの交流を通して、互いの教育・保育の実情や発達段階の違いを実体験から学び合った。就学前担当者による園訪問等も進み、子どもの活動や支援の様子を共有することで、入学に向けた準備と円滑な接続への意識が一層高まった。	○

※評価      ◎: 目標を上回る達成      ○: 目標どおり      △: 目標未達成の部分あり

### 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	8月28日 (木)	川西小学校	・授業参観の意見・感想    ・川西学校の現状と課題について ・アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムについて    ・今年度の計画の確認
2	11月17日 (月)	川辺保育園	・園児、施設の見学参観    ・保育参観の感想と保育園の現状と課題 ・幼保小中の接続について    ・幼保小中の職員レベルの交流のあり方について
3	2月2日 (月)	浦里保育園	・園児、施設の見学参観    ・保育参観の感想と保育園の現状と課題 ・幼保小中の接続について    ・今年度のまとめ、次年度の確認

# 令和7年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名		丸子中学校区		構成園校	丸子中学校、丸子中央小学校、中丸子保育園、まるこ保育園	
役員	7年度	会長	丸子中央小学校長 久保田俊也		副会長	丸子中学校長 小山 健史
	8年度	会長	丸子中学校 校長		副会長	丸子中央小学校 校長

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1) 授業や活動参観を通して、各発達段階における現状の把握や課題について情報交換を行う。 (2) 園・校内や家庭内での基本的な生活習慣の確立を図る。 (3) 発達障がいのある園児児童生徒の情報共有を行い、よりよい支援方法を探り、接続について連携を図る。	○喫緊の課題として共通理解が持て、園児・児童・生徒の様子や生育歴・環境等から、その対応について話し合うことができた。 ○全回計画通り実施できた。	○
取組	(1) 共通目標(1)について ① 保育園児の活動参観から、発達段階における状況や課題を把握する。 ② 園から小学校、小学校から中学校への繋がりにおける課題や対応策を検討する。(1回目の小・2回目の園・3回目の中を通して) ③ 夏休み中に園へ小学校の職員が出向き、参観・体験・情報交換する。	○幼保小中における園や学校課題を共有し、中学校までの育ちについて、改善点を話し合うことができた。 ○幼保小中における園児・児童・生徒の発達段階的な様子や課題を連続して把握し、記録を生かしていきたい。 ○少子化に伴い、今後の保小、小中、園・学校間での交流や対応等について共有し、連携を図ることができた。	○
	(2) 共通目標(2)について ① 幼保小中が連携して「基本的な生活習慣の大切さ」や「家庭生活のあり方」のプリント内容を更に検討し、作成する。 ② 夏休み前に上記プリントを配布し保護者へ啓発を行う。 ③ 「早寝、早起き、朝ご飯」の継続した呼び掛け。 ④ 来入児保護者会で、家庭生活のリズムの整えや基本的な生活ができるように依頼する。 ⑤ 「メディアコントロールの大切さ」について、保護者への啓発を行う。	○昨年度までの取組を継続して「メディアコントロール」について呼びかけをしていくことを共通理解した。 ・「ぐんぐん丸子っ子」に市教委で発行しているリーフレット(スマホ・ネットをかきこく安全に使うために)を載せ、ルール作りの大切さを呼びかけた。 ・年3回(7月,11月,2月)メディアコントロール週間を統一して実施することは、家庭から好評を得ている。さらに取組みやすくなるための「がんばりカード」等の工夫を共有した。保護者への啓発をさらに工夫していきたい。	○
	(3) 共通目標(3)について ① 丸子中学校区の各園・学校の発達障がい状況と対応策についての理解を図る。 ② 支援が必要な児童や家庭について具体的な内容を話し合い、各園・校で参考にする。	○各園・各学校とも発達障がいと思われる子どもたちの増加状況と対応策についての理解を図る事ができた。 ○参観から発達障がい等の理解を深め、指導や啓発の継続性の大切さを協議できた。 ○子どもへの支援や配慮について具体的に学ぶことができた。	○

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	7月14日 (月)	丸子中央小学校	・丸子中央小学校の全学年の授業参観 ・発達障がいのある子どもや家庭への支援について ・新入生を迎えるに当たっての幼保小の連携について ・来入児の名簿の確認 ・メディアコントロール週間の確認 ・今後の予定
2	10月23日 (木)	中丸子保育園	・中丸子保育園の活動参観 ・メディアコントロール週間の確認 ・学校職員の園訪問について
3	1月20日 (火)	丸子中学校	・丸子中の授業参観 ・メディアコントロール週間の確認 ・幼保小中を通しての連携について ・本年度の反省と課題、次年度への希望と予定

# 令和7年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名		丸子北中学区		構成園校	丸子北中／丸子北小／塩川小／依田保／長瀬保 ／塩川保／ちぐさ幼	
役員	7年度	会長	塩川小学校 菊池 陽子		副会長	塩川保育園 柳澤 理栄
	8年度	会長	丸子北中 校長		副会長	ちぐさ幼稚園 園長

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	(1)「思いやり」の芽を大事に育てよう (2)何事も「自分でする」気持ちを持たせよう (3)発達段階に応じて、学習する習慣を身につけさせよう (4)心と心を伝え合う「あいさつ」でつながろう ※子どもの発達段階に即した指導の接続と連携をもとにして	以下の通り	○
取組	(1)人権同和教育の推進(各園、各校の計画による) ①中学校区人権同和教育研修会 ②幼保小中連携だより「よだがわ」の発行(11月)	・人権同和教育においては、幼保小中それぞれの計画により推進しているが、小中においては講話をお聞きしたり、授業公開・研究会を行ったりして、有意義な研修会が実施できている。幼保の先生方と共に学べる機会も検討していきたい。 ・今年度の内容は「朝食」に関するものとして家庭へ配付し、園や学校での取組への理解と協力を求めた。	○
	(2)「自分でする」という主体性を高めるための取組	・各小中学校では、新規に入学者の児童生徒に対して、児童生徒手作りの体験的な交流学習(体験学習・体験入学)を計画・実践している。新しい仲間を自分たちで迎えるという意識が醸成されている。 ・各園では、園児が「自分でする」ことが少しずつ多くなるように、家庭の協力を得ながら支援し、成果が出てきている。	○
	(3)子どもの成長や学びの発達段階に即した指導の接続と連携	・連携会議で、保育・授業参観を通して園児・児童・生徒理解を図ると共に、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを基に、指導の接続や連携のあり方について協議し、幼保小中で役立てることができている。 ・連携会議毎に、各校園の連携の状況や園児・児童・生徒の交流活動について情報交換を行ってきた。新たな取組を導入できる可能性が見えてきている。	○
	(4)あいさつ運動の実施(朝の時間)	・あいさつ運動は、各校での実施の形態になっている(コロナ禍以降)。児童会・生徒会役員や地域の方、PTAの方、地元企業の方が学校玄関や通学路に立ち、あいさつ運動を展開している。学校職員や校長も定期的に通学路に立ち、児童・生徒とあいさつを交わしている。その結果、気持ちのよいあいさつができる子どもたちが増えてきている。	○

※評価 ◎:目標を上回る達成 ○:目標どおり △:目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	8月27日	塩川保育園	・園の紹介・園児の様子 ・保育参観 ・参観の感想 ・1学期の取組についての情報交換 ・「幼保小中連携だより」について ・第3回ブロック会議について
2	10月27日	ちぐさ幼稚園	・園の紹介・園児の様子 ・授業参観 ・参観の感想 ・2学期の取組についての情報交換 ・「幼保小中連携だより」について ・アプローチカリキュラム／スタートカリキュラムについて ・第4回ブロック会議について
3	1月28日	丸子北中学校	・学校の紹介・児童の様子 ・授業参観 ・参観の感想 ・今年度の取り組みについての反省 ・令和8年度連携会議の計画について ・各園・学校の行事予定(運動会・音楽会・文化祭・その他)

# 令和7年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名		菅平中・真田中学校区		構成園校	真田中 / 本原小 / 長小 / 菅平小中 / 傍陽小 さなだ保 / いずみ幼 / すがだいら保 / そえひ保	
役員	7年度	会長	さなだ保育園長 武捨 純子		副会長	菅平小中学校長 草間 信一
	8年度	会長	菅平小中学校長 草間 信一		副会長	いずみ幼稚園 副園長 熊井いく

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	「みんなで育てよう真田っ子を」 ～キャリア教育＝自己肯定感や自己有用感を育み、 スムーズな入学を進めるための連携とそのあり方～	・幼保小中連携を、キャリア教育の視点から捉え、 活動や交流を行うことが出来た。	○
取組	① 各園のアプローチカリキュラム、各校のスタートカリキュラムをもとに、幼保との連携の中で重点となる活動内容などについて意見交換の実施 ② 各園・各校における学びの状況や子どもの姿に応じた支援・指導の連携についての情報交換 ③ 各園・各校における幼保小中の連携を更に深めるための園児・生徒の活動や交流にかかわる情報交換	・各園のアプローチカリキュラム、各校のスタートカリキュラムの計画を持ち寄り、幼保小中連携の中で、子ども達がスムーズに学校に慣れていくように考えることが出来た。 ・各園・各校での具体的な交流計画について情報交換したことで実施に結びつき、交流が深められた。	○
	① 子どもの学習や遊びの様子、活動場所等を参観し、懇談することを通して、研修を深める。 ② 小中学校の職員が校区の幼・保での体験実習をすることにより、幼保職員の具体的な支援に学ぶ。 ③ 幼保から小、小から中へ、配慮を要する子どもの支援のあり方について、情報交換を行う。	・それぞれの園や学校での情報交換により、子ども理解について研修が深まった。 ・体験学習から、中学校への抵抗感を薄め、進学への期待感を高めることが出来た。 ・来入児・児童・生徒の情報交換をすることにより、小1・中1ギャップの解消が図られている。	○

※評価 ○: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	6月24日	真田中央公民館	・上田市校長会と同時開催 ・本年度の計画
2	10月7日	いずみ幼稚園	・保育参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 ・各園・各校でのアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムについて
3	12月2日	長小学校	・授業参観及び園児・児童・生徒の情報交換 ・各園・各校における学びの連携について ・幼保小中の連携を更に深めるための活動や交流にかかわる情報交換 ・今年度の反省と次年度への課題と要望 ・次年度の計画

# 令和7年度ブロック内の取組について

## 1 概要

ブロック名		依田窪南部中学校区	構成園校	武石保育園、武石小、依田窪南部中学校		
役員	7年度	会長	依田窪南部中学校長	副会長	武石保育園長	
	8年度	会長	武石小学校長	副会長	武石保育園長	

## 2 共通の目標・取組状況及び成果等

	ブロック内の共通の目標・取組	成果・効果等	評価
共通目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰にもあいさつできる武石地域を目指す。</li> <li>・相手を思いやる心を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、小学校、中学校共通で、あいさつを大事に取り組んできた。</li> <li>・一緒に行う活動の準備では、相手のことを考えて取り組むことができる姿が見られるが、活動場面では、仲がよいため、自分中心に物事を考えてしまう姿も見られた。</li> </ul>	○
取組	(1) 保育園、小学校、中学校であいさつ運動を実施。 ①各校、園の実態に合わせてあいさつを進める取り組みを行った。 ②各校、園で「始まり、終わり」のあいさつをしっかり行うようにした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の中で、あいさつ場面を意識させることで、気持ちのよいあいさつができるようになってきた。</li> <li>・自分から進んで行うことは、個による差があるが、あいさつができる子に続いて行うなど、意識をする姿は増えてきた。</li> </ul>	○
	(2) 中学校、小学校、園との交流 ①武石保育園研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに小中教職員が1日保育園に行って、園児と過ごし、保小中の職員間で情報交換を行った。</li> </ul> ②小中学校の交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽交流会を行った。9月3日音楽交流会。9月26日中学文化祭紫苑祭への参加。</li> <li>・1月29日中学校説明会で体験入学。中学校で授業へ参加。</li> </ul> ③保小の交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校のプールや遊具を体験。プール体験は2回実施。</li> <li>・発達検査の時、来年度ペア学年になる5年生、2年生と交流。</li> <li>・武石保育園年長児を招待して、1、2年生と合同で焼き芋会を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに職員研修として、保育園研修を行った。日頃接している子どもたちと異なるため、子どもの発達段階を理解したり、次年度以降に向けての情報共有をしたりするよい機会となった。</li> <li>・中学校の文化祭の機会に、長和町の2校とも一緒に音楽交流をすることで、共に学ぶ仲間の姿に刺激を受け、進学に向けての意識づくりができた。</li> <li>・年長園児が、小学校の休み時間にプールを利用。小学校への期待を膨らませた園児の姿が見られた。</li> <li>・発達検査では、来年度に関わりがある学年が担当したので、「来年待っているよ」と優しい言葉をかける姿が見られた。</li> <li>・焼き芋会では、園児のためにゲームのルールを工夫したり、歓迎の首飾りを作ったりして、2年生が中心となって会を進めることができた。</li> </ul>	◎
	(3) メディアコントロールデー実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地区の学校でメディアコントロールデーを実施している。武石保育園でもメディアと接しない日などを決めて、保護者に連絡した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地域の取り組みとして、地域の有線放送で、開催日に放送してもらい、地域の方にも関心をもっていただいた。地域の方から、実際の取り組みの状況についての質問があり、学校運営委員会で、児童や保護者の取り組みの様子や感想をもとに、状況を説明した。メディアから離れることで、親子の会話が増えたり、家族と一緒に読書や運動をするなどを時間を有効に利用している姿が見られた。</li> </ul>	○
	(4) 中学校説明会・中学校職員出前授業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校職員が小学校に出前授業をした。(12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の中学校懇談会の期間に、小学校において算数と外国語の授業を行った。小学生にも取り組みやすい九九のゲームなどで、中学校の学習への不安を和らげる内容で、児童は、「中学校が楽しみになってきた。」という感想が見られた。</li> </ul>	○

※評価 ◎: 目標を上回る達成 ○: 目標どおり △: 目標未達成の部分あり

## 3 会議開催状況

回	開催日	会場	主な議題
1	5月20日 11月26日 2月2日	依田窪南部中	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中連絡会</li> <li>・6年生、新1年生の様子について</li> <li>・中学校説明会(1月29日)について</li> <li>・特別な支援を要する子どもの支援について</li> <li>移行支援会議は3月以降随時</li> </ul>
2	5月26日 1月19日	武石小	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保小連絡会</li> <li>・来入児、新1年生の様子について</li> <li>・入学式について</li> <li>移行支援会議も随時行う。</li> </ul>

## 令和7年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第一中学校区
-------	--------

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	と 成 果
4月初旬 3月中下旬	入学式 入園式卒業式 卒園式	各幼保小中	幼保小 中	・入学式・入園式に、各校園からメッセージをいただき紹介卒業式 ・卒園式に、各校園からメッセージをいただき紹介
9月3日(水) 12月16日(火)	授業参観・保育参観	第一中神川保育園	幼保小 中	授業参観・情報交換
5月	幼保小連絡会	東小・神川小1年担・特支担・各幼保職員	幼保小	授業参観・担任との情報交換
5月22日(木) 11月26日(水) 2月6日(金)	小中連絡会	第一中・東小・神川小 職員	小 中	今年度の入学児童・生徒・来年度入学生についての情報交換
5月中旬	神川ランド遊び	国分保育園から	保小	神川小外遊びスペースで園児が遊ぶ
12月	家庭科保育実習	一中3学年、国分保育園へ	保中	保育領域の学習の一環で実習を行う
9月26日(金)	松輝祭(文化祭)	6年児童、一中へ	小 中	第一中に来校
夏から秋	情報モラル	児童・生徒・保護者(各校園で)	幼保小 中	・主として小中で共通の時期に設定する ・ネットトラブル防止・ネットリテラシーの向上に係る学習を行う (「スマホ・タブレット・ゲーム機に関するアンケート」結果の共有と分析・活用)(PTAなどでの研修会)
8月25日(月) 11月5日(水)	一中区人権同和教育研修会	一中区小中職員	小 中	第一中で参集・リモート併用第一中に参集
9月 10月 11月 3学期	・来入児保護者会来入児健診 来入児発達検査 ・保護者会来入児保護者会	来入児保護者(東小・神川小) 来入児保護者(東小・神川小) 来入児保護者来入児保護者(東小・神川小)	幼保小	対面で実施健康診断発達検査・保護者説明会

時 期	交 流 事 業 名	対 象 園 校 名 (学 年、組 等)	内 容 と 成 果	
10月・11月 11月・12月	特別支援学級見学 特別支援学級体験	東小・神川小(5年生)児童・保 護者東小・神川小(6年生)児 童・保護者	小 中	第一中に来校し見学会第一中に来校し体験学習
1月30日(金)	中学校説明会	東小・神川小(6年生)児童・保 護者	小 中	対面で行う。児童に対しては中1生徒が、保護者には職員が説明する
1月から随時	移行支援会議(幼保→小)	プレ支援シートを作成した園 児・保護者・職員	幼 保 小	合理的配慮について、保護者の要望も聞きながら具体的に小学校での学びの場の確認や相談を行う。
1月から随時	移行支援会議(小→中)	特支・不登校・不適應等児童・ 保護者・職員	小 中	児童と保護者が共に参加し、中学での学びの場の確認や相談を行う。

## 令和7年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第二中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名（学年、組等）	内 容 と 成 果	
5月14日（水） 11月12日（水） 2月2日（月）	授業参観・保育参観	第二中学校（全校） 塩尻小学校（全校） 塩尻保育園（全園）	幼保	卒園した園児の成長ぶりを見ることができ、とても嬉しい気持ちなる。また、小学校の主体的に学ぶ児童の姿につなげる園での遊びのあり方について振り返るよい機会となった。
			小	幼稚園、保育園における環境構成や職員の支援のあり方を目の当たりにし、小学校の教職員がさらに取り組むべき実践のあり方を見つめ直す大変よい機会となった。
			中	中学校における探究的な学びを推進するために、幼稚園、保育園、小学校の実践を参観する意義はとても大きい。さらに資質・能力という視点でカリキュラムの情報交換をしていきたい。
6月16日（月）	6年中学校体験	清明小学校6年生が第二中学校の学校見学 塩尻小学校6年生は中学校より授業及び校長講話を動画で配信	小	中学生の生活の様子を目にし、中学校生活についてイメージを持つ良い機会となった。
			中	1月に行っている体験授業を6月に位置付け、早い段階で中学校入学までに自分は何を準備すればよいかを児童自身が見いだせるようにしていきたい。
9月26日（金）	二中祭見学	塩尻小学校・清明小学校の各6年生が第二中学校の文化祭を見学	小	中学校への憧れをもつために大変意義のある体験であるが、修学旅行の時期と重なるため、日程調整が難しい。
			中	意見文を受け身で聞くだけの内容になっているため、6年生も共に楽しめる内容になるよう生徒会役員と議論をしていきたい。
5月～3月	幼保小交流会	年長園児と小学校1年児童の交流	幼保	小学校の環境や1年生の姿を見ることで、入学への不安を解消し、期待感を高めることができるとてもよい機会となった。
			小	1年生は、年長児に分かりやすく教えたり手伝ったりすることで、年下を配慮する心や責任感を高めることができるとてもよい機会となった。
1月22日（木）	中学校説明会・体験授業	塩尻小学校・清明小学校の各6年生と保護者が第二中学校で体験授業と学校説明会に参加	小	中学校の授業を体験することができ、とてもよい経験の場となった。塩尻小学校は昼食の時間の確保が難しいため、日程及び内容を検討する必要がある。
			中	体験授業を6月に位置付けたい。また、中1が6年生に中学校紹介をしている間に、保護者説明会を行うことで、開始時刻を遅くすることができ、塩尻小が余裕をもって参加することができる。

## 令和7年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第三中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
6月16日(月)	中学校体験①	三中職員・生徒と北小6年 三中職員・生徒と西小6年	小・中 ・学級ごとに教科の希望をとり、中学校での授業(教科学習)を1時間ずつ体験した。 ・中学校1年生による中学校生活や部活動の紹介を聞いた。 ・小学生が中学校の先生に教えてもらい、参加型の授業形式で中学の授業が実際にイメージをふくらませることができてよかった。 ・「中学の様子がわかった」等、不安が薄らいた子や「あの部活動に入りたい」と期待を膨らませる姿があった。
8月29日(金)	三中ブロック 不登校対策委員会	三中・北小・西小職員	小・中 ・各校の長期欠席児童の現状を共有し、家庭の状況による家庭への配慮点や支援の方向について話し合えた。 ・不登校についての情報交換の他、小中連携のあり方について、考えることができた。 ・小6から中1へ入学後の、中1ギャップを埋めるべく、小中の連携をしっかりと行っていく必要性を感じた。
①11月～12月 ②7月14日(月) 15日(火)	①中学生の保育体験実習 ②中学生の職場体験	三中2年 芙蓉園へ 三中2年・北小職員・児童 西小職員・児童	中・幼保・小 ・日頃の学校生活とは違う、保育士の立場になって、はたらくことのやりがいや将来について考える機会を得た。 ・コミュニケーションの取り方など難しさなどを感じとり、園の先生方の喜びや苦労について体験できた。 ・中学生との交流を通して、お兄さんお姉さんとの活動を楽しんだ。 ・小学校の学級で2日間過ごし、教師の生活を間近で見て、感じる事ができた。 ・小学生の学習をサポートしたり、一緒に遊んだりして交流することができた。
9月19日(金)	小学生の職場体験学習①	北小6年生	小・中 ・40箇所の事業所で職場体験を実施。1人でその職場に伺い体験する児童が大半であった。不安な気もちもあったが、それを乗り越えて、成長することができた。事業所の方々からは「とても良く頑張っていますよ」「てきぱきと丁寧に動いてくれて助かります」などお褒めの言葉をいただいた。各事業所までの引率はボランティアの方がしてくださっている。
①10月6日(月) ②10月30日(木) ③12月1日(月)	かんぎおん・上田幼稚園との 交流	西小5年生・かんぎおん、上田 幼稚園の年長児	幼保・小 ①10月6日(月)、5年1組の児童が上田幼稚園を訪問し、園児との交流活動を行った。児童2名と園児2名による小グループを編成し、事前学習で準備したお絵描きや折り紙、かくれんぼ、宝探しなどの遊びを展開した。活動中、児童は園児の目線に立って優しく接し、遊び方を丁寧に教えるなど、上級生としての自覚ある行動が随所に見られた。園児が心から楽しむ姿に触れることで、児童自身も大きな達成感と自信を得る貴重な機会となった。 ②10月30日(木)、かんぎおんの園生が来校し、5年2組との交流活動を実施した。5年生はボウリングやクイズなどの出し物を屋台形式で企画・運営し、園児の手を引いて各ブースを案内した。活動中、5年生は園児の歩幅や目線に合わせるなど、進んで「お兄さん」らしく振る舞う姿が随所に見られた。園児と共に心から楽しむ中で、相手を思いやる態度や責任感が育まれ、高学年としての自覚を高める極めて有意義な経験となった。 ③12月1日(月)、上田幼稚園の年長児を迎え、5年1組との交流会を行った。児童はボウリングや射的などの露店を準備し、園児の手を引いて各店を案内した。事前準備から「園児が楽しめるか」という相手意識を持って取り組んだことで、他者への想像力を養う良き学習となった。園児の喜ぶ姿に触れ、児童も大きな達成感を得た。
10月31日(金)	小学生の職場体験学習②	北小5年生	小・中 ・5年生は、自分がお世話になる職場について調べたり、自己紹介カードを書いたりして準備をした。また、引率ボランティアの皆様との打ち合わせや紹介式も行った。各職場の方々からあいさつについてお褒めの言葉を頂いた。それぞれ仕事に打ち込み、職場の方々や打ち解け、地域の方々との交流が深まった。
11月頃	上田市内各園との交流会	北小1年生および5年生による 各園年長児との交流活動	幼保・小 ・1年児童が「年長児が1年生として入学するにあたり、心配や不安を少しでも解消しよう」と自分たちの経験から考え、交流で年長児に伝えることを通して、年下の子への対応を身につけるとともに自身の成長を感じることができるとをねらいとして行った。交流の内容は『小学校の生活の紹介と体験「1年生になってみよう!」』で、5園(北幼、上田幼、聖ミカエル保、甘露、かんぎおん)が北小の児童と交流をした。年長児も小学校への入学に期待を高める機会となった。 ・5年生は、芙蓉園との交流を3回<10/28(火)、11/5(水)、12/10(水)>実施した。コミュニケーションゲーム、読み聞かせ、じゃんけん列車など体験的な活動を入れて交流をすることができた。
11月21日(金)	三中ブロック 人権同和教育研修会	三中・北小・西小職員	小・中 ・西小を会場に各校全員出席で公開授業、授業研究会、講演会を行い、研修を深める予定であったが、インフルエンザ拡大防止の観点から中止。
1月22日(木)	中学校体験②	三中職員・生徒と北小6年 三中職員・生徒と西小6年	中・小 ・中学校の総合的な学習の時間の発表会を小学6年生が参観予定。 ・中学生の学習発表を見て、中学生の姿や学びの様子を知る。 ・中学生生活に向けての希望や期待を膨らませる機会となるようにする。 ・中学1年生の発表で、前年の見学時の思いを重ねながら、小学生向けにわかりやすい説明ができるようにする。

## 令和7年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第四中学校区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
6月4日、5日	小学校6年生特別支援学級児童の中学校見学	南小、城下小6年特別支援学級児童 第四中特別支援学級児童	小中	中学校の校舎内や授業を見学したり、中学校の先生と関わることを通して、中学校での生活や授業をイメージし、中学への不安を少なくし、期待をもつことができた。
6月6日 9月17日	年長児特別支援学級の見学	南小学校特別支援学級 みのり保育園	保	特別支援学級の施設見学や学校説明に保護者と園児が参加した。園児の様子を見たり保護者と話をすることで、情報共有や受け入れにおける配慮点について、特別支援学級担任が確認することができた。園児は、小学校の校舎内や授業を見学したり、特別支援学級の先生と関わることを通して、入学後の生活や授業をイメージし、小学校への不安を少なくし、期待をもつことができた。
7月23日 7月28日 7月29日 7月30日 8月1日 8月4日 8月5日 8月8日 8月20日	来入児聞き取り参観	南小学校職員 日向幼稚園・みのり保育園 城下保育園・下之条保育園 川辺保育園・かんぎおん保育園 常田保育園・三好町保育園 上田南幼稚園・豊殿保育園 蓮の音保育園	小	小学校来入児担当と支援担当が訪問し、年長児クラスの参観をした。年長児クラス担任との懇談と来入児に関する聞き取りを行うことにより、具体的な情報交換ができた。特に個別の支援が必要な子の情報共有ができた。
7月23日 7月24日	保育園での職場体験学習	第四中学校2年生	中	キャリア学習の一環として、保育士の仕事の体験をした。園児に関わる保育士の姿から、今後の自分の生き方や社会への貢献について思いを深めることができた。
7月23日 7月24日	保育園での職場体験学習	第四中学校2年生 みのり保育園	保	キャリア学習の一環として、保育士の仕事の体験をした。園児に関わる保育士の姿から、今後の自分の生き方や社会への貢献について思いを深めることができた。園児はお兄さん先生お姉さん先生と遊びを通してたくさんの触れ合いを楽しんだ。
7月23日 7月24日	第四中学生 職場体験学習	三好町保育園 (年長児クラス)	保	中学生に、一緒に体を動かしてもらうことを喜んだり、人見知りをしてしまう子もいたが、やさしく声をかけてもらうことで、少しずつ親しみを持ち、遊ぶ姿が見られた。
7月23日 7月24日	保育園での職場体験学習	第四中学校2学生 城下保育園	保	保育士の仕事の体験を通して園児に関わる保育士が働く姿を学び、子どもの様子を知ったり体験活動を行うことができた。
7月24日 7月25日 7月31日 8月1日 8月2日 8月5日 8月21日	来入児聞き取り参観	南小学校職員 日向幼稚園・みのり保育園 城下保育園・下之条保育園 川辺保育園・泉田保育園 南部保育園・地球クラブ 上田南幼稚園	小	小学校来入児担当と支援担当が訪問し、年長児クラスの参観をした。年長児クラス担任との懇談と来入児に関する聞き取りを行うことにより、具体的な情報交換ができた。特に個別の支援が必要な子の情報共有ができた。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	成 果
7月29日 8月5日 8月21日	来入児聴き取り参観	城下小職員 城下保育園 7/29 三好町保育園 8/5 上田南幼稚園 8/21	小	小学校来入児担当が各園を訪問し、年長児クラスの参観をした。年長児クラス担任との懇談と、来入児に関する聞き取りを行うことにより、具体的な情報が収集できた。園の側からも、来入児の発達状況などを見ていただき、具体的な話げできた。
8月1日	就学前係・特別支援学級コーディネーター来入児聞き取り参観	南小就学前係・コーディネーター みのり保育園	保	普段の園児の様子や園の実態を見ていただき、園児について小学校との理解を深めることができた。
8月4日	来入児聴き取り参観 南小学校9:30～	三好町保育園 (年長児クラス)	保	普段の子どもの様子を見ていただいたり、気になることを直接お伝えすることができ、小学校との子供についての共有・理解を深める手立ての一つとなった。
8月5日	来入児聴き取り参観 城下小学校10:00～	三好町保育園 (年長児クラス)	保	普段の子どもの様子を見ていただいたり、気になることを直接お伝えすることができ、小学校との子供についての共有・理解を深める手立ての一つとなった。
8月20日	来入児聞き取り参観	南小学校 南幼稚園	幼	普段の子どもの様子を見てもらうことにより、子どもについての小学校との共通理解が深まった。
8月21日	来入児聞き取り参観	城下小学校 南幼稚園	幼	”
10月14,20,24,28,31	家庭科保育実習	第四中学校2学生 三好町保育園 城下保育園	中	家庭科の保育単元の学習の一環として、三好町保育園で実習を行った。園児と遊ぶために自分で遊び方や関わり方を考え準備することで、乳幼児の特性や必要な配慮について考えることができた。
10月14日 10月20日 10月24日	第4中学校生 家庭科保育実習	三好町保育園 (年長・年中・年少・2歳児クラス)	保	中学生を、親しみを持って”お兄さん、お姉さん”と呼び、庭でゲーム遊びや、室内でままごと遊びなど一緒にかかわり遊んでもらい、喜んでいた。中には、恥ずかしがる子や、緊張している子もいたが、少しずつ親しむ姿も見られた。
10月28日 10月31日	保育園家庭科実習	第四中学校2学生 城下保育園	保	中学生が生き生きと子どもと関わって楽しんで過ごし、園児の発達や様子を学ぶことが出来た。
11月19日 2月10日	グッドメディアデー	第四中学校区の幼保小中	保	交流ではないが、中学生の試験前日に一斉にノーマディアを家庭へ回って中学生の学習の応援をした。園児は絵本の貸出を家に持ち帰って親子で読み合ったり、テレビやスマホ等メディアとの関わりをなくし、家族の団らんを楽しんだ。
11月29日	子どもわいわい会議	城南地区小・中・高校生 地域の皆様	小 中	学校の代表者が参加し、各校の取り組みについて紹介し合い、地域の方々とも意見交換をする中で交流を深めることができた。
12月2日	保育園児と児童会福祉 交流委員会との交流	みのり保育園年長児 南小福祉交流委員会	保	小学校高学年児童とゲームやプレゼントの交流を通して、小学校入学に向けての期待が高まり、より前向きな気持ちで小学校入学への気持ちを準備することができた。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
12月2日	保育園児と児童会福祉交流委員会との交流	みのり保育園年長児 南小福祉交流委員会	幼	小学校高学年児童との交流を通して、小学校入学に向けての期待が高まり、より前向きな気持ちで小学校入学の気持ち準備ができた。
			小	保育園児との交流内容を考え、園児の実情に合わせた企画を実際に行うことで、相手を大切に考える意識をもって活動することができた。
12月16日、18日	小学5年特別支援学級児童の中学校見学	城下小学校・南小学校 特別支援学級5年生	小中	中学の施設見学や学校説明を行った。特別支援学級の児童の様子を2年間に渡って見ることで、小中間での情報共有や中学受け入れにおける配慮点について、中学校の特別支援学級担任が確認することができた。小学生は、中学校の校舎内や授業を見学したり、中学校の先生と関わることを通して、中学校での生活や授業をイメージし、中学への不安を少なくし、期待をもつことができた。
1月15日	年長児特別支援学級の体験入学	南小学校特別支援学級 みのり保育園	保	特別支援学級の体験入学に保護者と園児が参加した。園児の様子を見たり保護者と話をすることで、情報共有や受け入れにおける配慮点について、特別支援学級担任が確認することができた。園児は、特別支援学級の先生と関わって授業を体験することで、入学後の生活や授業をイメージし、小学校への不安を少なくし、期待をもつことができた。
1月15日	特別支援学級来入児見学	南小学区の幼稚園・保育園	幼保	特別支援学級の来入児に学校の実態や様子を見ていただき、理解を深めることができた。
1月16日	特別支援学級来入児見学	南小学区の幼稚園・保育園	幼保	特別支援学級の来入児に学校の実態や様子を見ていただき、理解を深めることができた。
1月23日	入学するみんなを招待しよう	城下小学校 南幼稚園	幼	就学先の学校の児童と触れ合うことで、入学への期待が高まった。
1月23日	来入児1日入学 城下小学校	三好町保育園 (年長児クラス)	保	学校の案内をしてもらったりすることで、学校に対する親しみをもてるようになった。
1月23日	来入児保護者会 来入児1日入学	来年度入学予定児童 城下小学校1年生	保	来入児保護者会に合わせ、年長児と1年生とで交流会を行った。小学校入学に向けて、見通しや期待を持つことができた。保護者も、子どもの様子を見て安心した。
1月30日	中学1年生による 中学校説明会	城下小学校・南小学校6年生 およびその保護者 第四中学校1年生	中	中学1年生が来年度新入生の中学入学への不安を和らげるため、様々な活動に取り組んだ。後輩の入学にあたり、自分たちの生活の振り返りをすると共に、学年生徒が協働して自分たちの生活を改善しようとすることや、自分たちがより良い先輩になろうとする自覚を高めることにつながる良い機会となった。
1月30日	中学1年生による 中学校説明会	城下小学校・南小学校6年生 およびその保護者 第四中学校1年生	小	直接中学へ行っての中学校紹介などの説明を受けることができた。生活の決まりや様子について先輩から直接教わることで詳しく知ることができ、中学校生活の基本について知り、入学への期待が高まった。
			中	中学1年生が来年度新入生の中学入学への不安を和らげるため、様々な活動に取り組んだ。後輩の入学にあたり、自分たちの生活の振り返りをすると共に、学年生徒が協働して自分たちの生活を改善しようとすることや、自分たちがより良い先輩になろうとする自覚を高めることにつながる良い機会となった。

時 期	交 流 事 業 名	対 象 園 校 名 (学 年、組 等)	内 容 と 成 果	
2月3日	移行支援会議	城下小学校 城下保育園	保	・見学をすることで、不安を軽減できた。 ・配慮を要する児童の支援会議を行い、入学後の支援の方向を検討した。
2月20日	保育園児と児童会福祉 交流委員会との交流	みのり保育園年長児 南小福祉交流委員会	幼	小学校高学年児童との交流を通して、小学校入学に向けての期待が高まり、より前向きな気持ちで小学校入学の気持ち準備ができた。
			小	保育園児との交流内容を考え、園児の実情に合わせた企画を実際に行うことで、相手を大切に考える意識をもって活動することができた。

## 令和7年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第五中学区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
春・秋・冬	お散歩しよう 一緒に遊ぼう	神科第一保・第二保 豊殿保 豊殿小・神科小	保 未満児の散歩で小学校の校庭に行かせていただき、自然な形で交流が生まれている。
			小 校庭を散歩する園児に対し、声をかけたり一緒に遊んだりする姿があった。
4月～5月	スタートカリキュラム	神科第一保 神科小 豊殿保 豊殿小	小 1年生に合わせた時間割として、学校生活に慣れるため段階的に学習を進めた。
6月	小学校運動会	豊殿保・神科第一保・第二保 あゆみ保・北幼・にしおか他 豊殿小・神科小	幼 中学生と共にプランターに花の苗を植える。生徒さんが優しく声をかけてもらい、園児が興味ありそうな話題で和ませてくれ、なかなかない中学生との交流を楽しんでいた。 保 風車ひろいに参加して、小学校入学に期待感を持つことができた。 保 風車拾いをさせていただいた。小学校の運動会の雰囲気を知り、期待が高まったように感じる。 保 天候が心配されたがこまめに連絡をいただき親子共に安心してまた、入学への期待を持って楽しく参加した。
			小 天候による短縮での開催のためかざぐるま拾いは行わなかったが、2月の来入児保護者会で小学校体育館にて実施する予定。
6月	保育園の先生による1年生の授業参観と懇談会	豊殿小 神科小	小 1年生の授業参観を実施し、その後気になる子について懇談をすることができた。
7月	中学校職場体験学習	神科第一・第二・あゆみ 豊殿保・にしおか・神科小・豊殿小・第五中	幼 保育士を目指す五中生が職場体験に来園し、中学生との交流、関わりが持てた。 保 絵本の読み聞かせをしてもらい、一緒に好きな遊びを楽しんでもらった。触れ合ったり話をしたりコミュニケーションを取りながら楽しい時間となった。 保 事前の準備や目的をもって参加していて頼もしく感じた。
			小 自分が教えられる立場から教える立場に変わり、小学生時代を振り返りながら、教える側の先生の思いにも考えを及ばせて体験したという感想をいただいた。視野の広がりにつながる良い体験となっていたようで、大変うれしく感じた。
7月～8月 (夏休み中)	保育園プールでの保育体験	豊殿保 豊殿小	保 年長児が2回小学校のプールに行き、遊ばせてもらった。就学への期待にもつながった。 保 普段の子どもの様子を見てもらうことにより、子どもについての小学校との共通理解が深まった。
			小 小学校のプールを2～3回利用し、大きなプールに入ることを楽しんでもらえた。休み時間中の小学生と言葉を交わすこともできた。

時 期	交 流 事 業 名	対 象 園 校 名 (学 年、組 等)	内 容 と 成 果	
9月	第五中前歩道の花壇	あゆみ保 第五中3年生	保	五中改築のため実施しなかった。
			中	五中改築のため実施しなかった。
9月	中学校文化祭見学	豊殿小・神科小(6年) 第五中	小	五中改築のため実施しなかった。
			中	五中改築のため実施しなかった。
11月	小1との交流	上田北幼・神科第一保・第二保・神科小(1年)	幼保	体育館で音楽の発表を聴いた後、授業の様子を見せていただいたり、実際に椅子に座らせてもらい鉛筆遊びを体験させていただき、良い経験になった。 音楽会の発表を聞き感激、またクラスでの授業体験も一年生になったらの目安が見えて期待へ繋がった。
			小	1年生も先輩として張り切っている姿があった。
11月～2月	中学校教員の小学校参観	豊殿小・神科小(6年) 第五中(1学年)	小	特別支援学級の児童だけでなく、通常級の児童も見いただき、文章だけでは伝わりづらいところもお伝えすることができた。
			中	中学校の教員が6年生の授業を参観し、特に配慮が必要な児童の様子を参観していただいた。
1月	幼保小連絡会	豊殿保・神科第一保・第二保 あゆみ保・北幼・にしおか他 豊殿小・神科小	小	それぞれの園と情報交換し、4月からの指導、支援の準備に生かすことができた。
2月	年長児と5年生の交流	豊殿保・神科第一保 第二保・あゆみ保 北幼・にしおか他 豊殿小	幼保	入学後お世話になる小学生と交流することができ、小学校への期待感が持てた。
			小	園児が学校に慣れるために5年生があたたかく園児を迎え、一緒に楽しむことができた。
2月	中学校での体験授業 新入生説明会	神科小・豊殿小 第五中	小	中学校の授業を体験し、中学への期待感をもつことができた。
			中	神科小学校はインフルエンザの学級閉鎖のため参加できなかったが、その代わりに動画での紹介を行った。
3月	小学校へのアプローチカリキュラム	豊殿・神科第一保・第二保 あゆみ・上田北・にしおか 豊殿小・神科小	小	午睡時間の短縮など、小学校生活に向けての準備をし、入学への期待を膨らませた。

## 令和7年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	塩田中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
6月	東塩田小運動会への招待 塩田西小運動会への招待 中塩田小運動会への招待	入学予定園児 小学校全校児童と担当係児童	小 幼保 保育園と相談のうえ、招待は行わなかった。
8月中	来入児のいる幼保への小学校職員 の参観と情報交換(塩田西小)	塩田西小職員・西塩田保育園等	小 移行支援が必要な園児がいるなど特に必要な園について実施した。
年間を通して	来入児のいる幼保への小学校職員 の参観と情報交換(中塩田小)	中塩田小職員・塩田中央保・塩田北保等	小 移行支援が必要な園児がいるなど特に必要な園について実施した。
8月中	小学校職員の保育園での参観実習 (東塩田小)	東塩田小職員・東塩田保園児	小 教頭・新任職員・来入児係が保育園に行き、特に年長児のクラスを見て、情報収集に努めた。
7月下旬～2月下旬	来入児のいる幼保への小学校職員 の参観と情報交換(全小学校)	塩田地区内全保育園と上田女子短大 附属幼稚園	小 来入児の園での様子を具体的に参観し、特別な配慮が必要になる園児への支援や今後の支援の方向を共通理解することができた。事前相談の機会も早めにもつことができた。
			幼保 来入児の様子を具体的にみていただき、来入児への理解と支援のあり方の共通理解が図れた
9月26日	塩田中学校文化祭の見学	中塩田・塩田西小6年生	小 中学校の文化祭を見学し、来年度の学校生活をイメージすることができた。
10月	1年生遠足	上田女子短大附属幼稚園	小 年長児が紹介する遊びを体験することで、仲を深めることができた。
			幼保 自分たちが普段遊んでいる裏山を1年生に紹介するというので、交流を深めることができた。
7月3・4日	小学校職場体験	塩田中学校生徒	中 キャリア教育に生かすことができ、将来の目標が持てた。
10月	音楽会(リハーサル)への招待 (塩田西小)	西塩田保育園年長	小 保育園児に演奏を聴いてもらい、本番をイメージした演奏をすることができた。
			保 小学生の演奏を聴くことで、小学校への期待感をもつことができた。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
10月下旬～11月上旬	就学前健康診断・就学前検査 (全小学校)	小学校入学予定園児	小	市教委からの応援をいただき実施。入学予定園児の検査中の様子や待機している時の様子を通して、園児の実態把握が深まった。
			幼保	健康診断を通して体の調子が保護者に理解され、健康な体で入学を迎えようとする意識を高めることができた。園児にとっては、小学校職員と関わることで、入学を楽しみにする気持ちを高めることができた。
10月	1年生と来入児交流会	東塩田小1年生と来入児	小	来年度迎える側として、少しお兄さんお姉さんという自覚を持つことができた。
			幼保	小学校が楽しい所であると思うことができた。
11月	1年生と来入児交流会	中塩田小1年生と来入児	小	1年生児童は、交流会を通じて来入児を迎えたいという意識を高めることができた。
			幼保	交流を通して、小学校の様子を知り、入学への意欲が高まった。
12月1日	塩田支会小中学校人権同和教育公開授業	塩田地区小・中学校職員	小	東塩田小学校の授業を参観し、児童の様子や授業についての意見交換を行った。授業づくりの中で、人権同和教育のあり方を振り返ることができた。幼保園へも案内したところ参観していただいた。
11月	4年生と来入児との交流会	塩田西小4年生と来入児	小	相手意識をもって交流計画を立て、あたたかい気持ちを育むことができた。
春・秋季	近隣小学校への散歩	塩田地区内の保育園	保	広い校庭や大きな遊具で遊んだり、小学生の屋外での活動を見学したりすることで、小学校を身近に感じていた。
1月22日	中学校説明会	東塩田小・中塩田小・塩田西小の6年児童及び保護者学区外の入学予定児童	小	中学校の先生から教わる体験授業により、入学後の学習についてイメージすることができた。
			中	新入生とその保護者に学校生活について説明を行い、先輩になる自覚が出てきた。
2月～3月の複数回	小学校進学に向けて移行支援会議	各幼保園関係職員 小学校関係職員	幼保	入学後の支援の方向について確認することができた。
2月～3月の複数回	中学進学に向けて移行支援会議	各小学校関係職員 中学校関係職員	小	入学後の支援の方向について確認することができた。
年間を通して	盈進池周辺の散策 (中塩田小)	塩田北保・塩田中央保育園	保	遠足や散歩等で立ち寄り、自然を満喫することができた。
年間を通して	小学校見学	小学校入学予定来入児	幼保	小学校入学に不安を抱える保護者が、見学を希望し見通しがもてるようにした。
年間を通して	中学校見学	塩田中学校入学予定の5、6年生対象	小	入学後の学校生活が不安な生徒が、中間教室等を見学し、中学校の生活をイメージすることができた。

## 令和7年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	第六中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
5月	幼保小連絡会①	幼稚園 保育園 小学校(1年生)	幼保 ・入学後の現状を把握したうえで、情報の共有と入学前に取り組むべき内容の把握ができた。 ・参観、懇談を通して入学後の様子を把握したり、双方で情報共有したりして、入学後の生活や学習への配慮につなげることができた。 ・5月は入学後の子どもたちの様子を見ていただくとともに、個別懇談で個々の児童の心配な面などを相談したり、配慮事項などの情報を共有したりすることで、支援や指導に活かすことができた。
6月～2月	希望者の学校見学	来入児 保護者 園職員	幼保 ・環境を知ることや、入学後の見通しをもつことができた。 ・実際に見させてもらうことで、入学への見通しが保護者と共に持つことができた。 ・一年生や特別支援学級の子ども達と交流をし、年長児の安心につながった。
6月～8月	学校職員の保育園参観	小学校職員	幼保 ・入学児童の実態を知ることができた。 ・園児の生活の様子を見せていただき、就学に向けて丁寧な接続が必要なお子さんの確認ができた。 ・学校職員に園へ来ていただくことはとてもありがたい。
7月9・10	職場体験	小学校 第六中学校	小中 ・2日間受入れた。キャリア教育の向上に役立つ機会となった。
		第六中学校 各幼保育園	幼保 ・職場体験を通して、保育士の仕事を少しでも知ってもらえたことはありがたかった。 ・8名受け入れた。園児は中学生に寄り添い、楽しいひと時を過ごすことができた。生徒がどのようなことを感じたか、作文をお願いし返事をいただいた。生徒のやさしさや誠実さが伝わってきた。
9月	小学校音楽会参加	浦里小学校 浦里保育園	保小 ・園児の皆さんにも発表をしていただき、小学生にとって良い交流の機会となった
10・11月	就学前健康診断 就学前検査	川辺小学校 川西小学校	幼保 ・健康診断を通して、子どもの健康について保護者が意識を向ける良い機会となり、就学への期待を高めながら、必要な治療や準備をしようとするきっかけとなった。園児にとっては、小学校へ入ることや、小学校職員と関わることで、更なる入学への期待につながった。
12月	保育園実習	第六中学校(3年全クラス) 泉田保育園	中 ・園児と触れ合い、遊びや対話を通して育児や幼児の特性について学ぶことができた。
			保 ・中学生が生き生きと子どもと関わって遊んでくれたので、園児にとってもいい経験となった
12月	交流会	川辺小学校6年 川辺保育園年中・年長児	保小 ・昨年度に引き続き、川辺小の6年生が川辺保育園へ行き、手作りのゲームなどを持参して園児と交流する予定だったが、インフルエンザの流行に伴い計画が中止となった。来年度は、もう少し早い時期に計画を立てるようになるとともに、5年生も交流し、新年度に新1年生を迎えられるようにすることも検討したい。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
1月	幼保小連絡会②	各幼稚園 保育園 小学校	幼保	・来入児の現状や、具体的な支援のあり方について情報交換することができた。 ・年長児がスムーズに入学できるよう、丁寧に情報共有ができた。
1月	中学校説明会	第六中学校 各小学校	小中	・6年生、保護者ともに来校し、説明会を対面で行った。6年生は、中学1・2年生の授業も参観した。 ・初めて中学校を訪れた6年生も多く、中学校進学への希望をさらに強くもつことができた。 ・各校の6年生は中学の様子を知り、期待に胸を膨らませることができた。
1月・2月	六中の庭で遊ぼう	第六中学校 日向幼稚園	幼	・広い六中の校庭をお借りして、年長の園児が1時間、凧揚げをしたり飛び回って遊ばせてもらった。それを伝え聞いた年中児も行きたくなり、後日、一緒に行かせてもらうようになった。六中生とは直接の交流はなかったが、今後につながっていけるか楽しみにしている。
2月24日	英語交流(on-line)	川辺小学校6年 川西小学校6年	小	・同じ六中学校へ進学する6年生同士がon-lineで英語交流を行った。学級毎に小グループに分かれ、「得意なこと」「思い出に残っていること」「中学校で楽しみなこと」「将来の夢」などについて英語で伝え合った。1時間の授業であったが、グループを交代しながら大勢と交流することができ親睦も深まった。中学校への期待を高める姿も見られた。
2月	来入児1日入学	小学校(5年生) 来入児	幼保	・5年生が交流内容を主体的に企画し、園児と楽しく交流することができた。
1月～3月	移行支援会議(幼保小)	配慮が必要な園児の保護者	幼保	・配慮を要する児童の支援会議を行い、入学後の支援方法や方向性を検討した。 ・就学に当たって小学校に伝えておいて方がよいと園・保護者が判断した園児について、それぞれ小学校で時間を確保していただけたことはありがたい。また、保護者に諾をいただけなくとも、園で進めた方がよいと判断した場合でも会を設定してよいということで進めさせている。(今回は他のブロックの小学校) 小学校の先生方が園に出向いて園児の様子を見ていただけたことも継続してほしい。
1月～3月	移行支援会議(小中)	配慮が必要な児童の保護者	小中	・具体的な支援のあり方について情報交換することができた。
通年	小中連携事業	第六中学校 小学校	小中	・中学校の先生に来ていただき、5・6年生に算数の授業をしていただいた。授業の体験や先生とのやりとりから、中学校入学への不安がかなり減り、中1ギャップ解消への一助となった。

## 令和7年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	丸子中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
通年	中学校教諭による数学の授業	丸子中央小学校 丸子中学校	小 中学校での教科担任制に向けてよい経験ができた。緊張感をもって学習ができた。また、担任がITで授業に入れるので、習熟度に応じて支援ができ、子ども達の理解度が向上し、学習意欲の高まりにつながった。
			中 小6(3学級)及び小5(2学級)において、算数243時間の授業を行った。6年生児童からは「中学の算数が楽しみ」という声が聞かれた。
5月 1月	幼保小中連絡会	丸子中央小学校 まるこ保育園・中丸子保育園	保 入学後の1年生の授業の様子(5月)を見せていただき、情報交換を行った。
			小 保育園の先生方から貴重な情報を提供していただき、大変ありがたかった。
6月	中学校家庭科授業体験学習 幼児との交流	中丸子保育園・丸子中	保 授業で作った手作り玩具を持参していただき、子どもたちに披露しながら楽しい交流ができました。
			中 6/2,3,12、2学年生徒(3学級)が2時間の訪問。年齢ごとのクラスに合った内容を考えて、グループでゲームや読み聞かせなどで交流した。中学生にとって幼児との交流は他者を思いやる心の醸成に大いに寄与すると考える。
	来入児と5年生との交流	丸子中央小入学予定来入児・ 丸子中央小5年	保 (実施せず)
			保 (実施せず)
			小 (実施せず)
	青少年ネットワーク会議	丸子中央小・丸子中 丸子修学館高	小 異年齢の集団で、企画を考えたり、イベントに参加したりすることで、互いの考えのよさを感じたり、新たな視点を発見したりと新たな価値観を学ぶよい機会となっている。
中 生徒会役員が参集し、年3回実施。3回目は生徒会を引き継いだ2年生が参加。地域に出てあいさつ活動に取り組み、地域の方との交流にもなっている。			
7月	丸子中学校職場体験学習	中丸子保・まるこ保育園 丸子中	保 緊張しながらも園児と関わる姿があり、体を使ってたくさん遊んでもらい嬉しそうでした。
			保 クイズや絵本など子どもたちの年齢や好きなものを考えながら、制作してきてもらい楽しい交流ができました。
			中 19名の生徒が職場体験学習を行った。キャリア教育の趣旨をふまえ、生徒は自己の生き方などを考えるきっかけとした。
	職員研修(小→幼保)	中丸子保・まるこ保 丸子中央小	保 水遊びを中心に、園生活を体験して頂き年齢ごとの発達を知っていただく良い体験交流ができたと思います。
			保 園生活を体験していただき子どもたちも喜んでた。来入児の様子は、実際見ていただき具体的に情報交換来て良かった。
			小 実際に園児と関わる中で、細やかな支援の具体を見聞きし、大変参考になった。また、園児の様子についても、情報共有を行うことができ、貴重な機会となった。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
7～8月	プール開放	中丸子保・まるこ保 丸子中央小	保	暑い時期だったが夏の遊びを通し、子どもたちとの関わり方や保育士の仕事を知ってもらい交流を深めた。
			保	小学校のプールを経験することで水への恐怖心がなくなり、就学への期待感も高まったように思います。
			小	短時間ではあるが、とても楽しく水遊びをしてもらい、学校が楽しみなる機会につながっている。
7月 11月 2月 (年3回)	幼保小中合同 メディアコントロール週間	中丸子保、まるこ保 丸子中央小、丸子中	保	親子で積極的に取り組んでいる。親子で遊ぶ時間を増やしたり、お手伝いをする時間を作ったりと工夫していた。
			保	親子の触れ合いや、手伝いの課題を各家庭で考えて実践していただく。カードを配布しぬりえやシール貼りで楽しく取り組めるよう工夫。メディアコントロールを意識するきっかけとなっている。
			小	メディアとのかかわりについて振り返る良い機会となっているので、継続していきたい。ただ、11月は人権月間と重なるため、意識を高めることに苦労している面がある。
			中	生徒には全校集会で話をしながら、適切にメディアを利用することの意識を啓発した。スマホなどの端末利用が低年齢化していることや、保護者からも家庭でのルール作りについての問い合わせもあることから、継続的に保護者と連携していく必要がある。
9月、10月、 1月	来入児保護者会 来入児検査	中丸子保、まるこ保 丸子中央小	小	保護者会では、小学校側から保護者の皆様に入学前にお願いをすることを説明する大切な機会となった。これまで文書で通知していた内容も、tetoruで配信することができ、保育園の先生方の負担軽減につながったと思う。検査では来年度入学予定の園児の様子を知る大切な機会となっている。
10月	来入児と5年生との交流	丸子中央小入学予定来入児・ 丸子中央小5年	保	入学を前に一緒に遊んだり、優しく関わってもらったりしたことで学校を知る機会になり、より小学校を身近に感じることができた。
			小	数回の交流であったが、子どもたちはとても楽しみにしており、意欲的に取り組む姿が見られた。また、あたたかな関わりが随所に見られ、とても良い経験になっている。
11月	中学校体験授業 (6年生が中学校で)	丸子中央小・丸子中	小	中学1年生より生活や学習の様子を教えてもらえるので、親近感があり、安心感が高まっている。授業の体験についても、中学校の学習を学ぶよい機会となっている。
			中	中1生が合唱で歓迎し、学校生活を紹介する。小6児は国語、英語、理科の講座に分かれて授業体験。児童や保護者が来校するので、中学校生活のおおよその見通しを持つのに大切な機会と考える。
12月	小中連絡会	丸子中央小・丸子中	小	小6と中1の担当職員で中学校で時間を設定していただいた。進学する児童の情報を提供できる貴重な機会となった。特別支援学級担当や養護教諭も別時間に情報共有をさせていただくことができた。
			中	小6、中1担当職員による学級編成に関わる会議を行った。特別支援担当者や養護教諭同士もそれぞれに連絡会議を行い、児童の情報交換や入学までのスケジュールを確認し、入学までの見通しを持つのにとても大切な機会である。
2月	来入児と5年生との交流	丸子中央小入学予定来入 児・丸子中央小5年	保	入学を前に一緒に遊んだり、優しく関わってもらったりしたことで学校を知る機会になり、より小学校を身近に感じることができた。
			小	数回の交流であったが、子どもたちはとても楽しみにしており、意欲的に取り組む姿が見られた。また、あたたかな関わりが随所に見られ、とても良い経験になっている。
	中学校の特別支援学級授業 参観	丸子中央小学校 特別支援学 級在籍児童(5年生)	小	中学校の生活や学習の様子を実際に見学することで、不安な気持ちが和らぎ、進学の意欲が高まるのでとてもありがたいです。

## 令和7年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	丸子北中学校区
-------	---------

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	成 果
年 間	地域あいさつ運動	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・各学校ごとに期日を設定し、学校独自で行ったり、地域の方と一緒にしたりした。あいさつの大切さを理解し、進んであいさつのできる小中学生が増えてきている。
5月8日	小中連絡会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・生徒の出身校の先生方に新入生の授業の様子を見ていただき、情報交換を行った。個々の児童の支援方法について、多くのアドバイスをいただくことができた。
5月9日	塩川小・幼保小連絡会	塩川小・塩川保・ちぐさ幼	幼保 小	・児童の出身園の先生方に新入児童の授業の様子を見ていただき、情報交換を行った。個々の児童の支援方法について、多くのアドバイスをいただくことができた。
5月20日	丸子北小・幼保小連絡会	丸子北小・依田保・長瀬保	幼保 小	・児童の出身園の先生方に新入児童の授業の様子を見ていただき、情報交換を行った。個々の生徒の支援方法について、多くのアドバイスをいただくことができた。
6月11日	丸子地域新任職員等人権教育研修会	丸子北中・丸子中・塩川小・丸子中央小・丸子北小	小中	丸子地域に新しく赴任した職員を対象とした人権同和教育研修会を行った。丸子地域の学校職員として責務や役割を理解し、子どもたちのために努めていく意欲を高めることができた。
年間	学校見学	塩川小(1年生・特別支援学級)・塩川保・ちぐさ幼	幼保 小	・園児が安心して小学校に入学できるように、1年生の授業の様子や特別支援学級の授業の様子を見学した。
5月31日	塩川小運動会への招待	入学予定園児 小学校全校児童と担当係児童	小 幼保	・来入児が運動会の様子を見学したり種目(風車拾い)に参加したりすることで小学校への期待をもってもらうことができた。
6月	ふれあい保育実習	丸子北中(2年生)・依田保・長瀬保	保 中	・園児と一緒に遊ぶことを通して、園児とのかかわり方や支援の仕方など学ぶことができた。
7月	小学校プール開放	塩川小・塩川保・ちぐさ幼	幼保 小	・小学校の施設に慣れてもらうことを目的として、小学校のプールを開放した。園児が水に慣れる機会としても有効であった。
7月25日	丸子支会学校職員研修会	丸子北中・丸子中・塩川小・丸子中央小・丸子北小	小中	・丸子地域の小中学校職員(人権同和教育)研修会を行うとともに、各種委員会の事業計画を検討し合った。職員同士の親睦を図る機会ともなった。
7月～8月	保育園年長児参観	丸子北小・依田保・長瀬保	幼 小	・小学校の先生方に年長児の様子を見ていただき、情報交換を行った。来入児に関する情報を多くいただくことができ、有意義な会となった。
7月	職場体験学習	丸子北中(2年生)・依田保・長瀬保・ちぐさ幼・塩川保	幼保 中	・2日間の日程で、職場体験学習を実施した。園児へのかかわり方を学び、園の先生方の仕事内容を学ぶことができた。将来の職業を考える貴重な学習となった。
8月8日	新任職員研修	丸子北中・丸子北小・塩川小・長瀬保	幼保 中	本年度赴任した新任職員を中心に塩川保育園で研修し、熱中症対策など安心・安全な園の運営について学べた。
9月	中学生学習ノート掲示	丸子北中・塩川小・丸子北小	小中	・中学生が学習したノートを各小学校で掲示することで、中学生の学習のしかたや様子が今後の学習の参考になった。
9月18日	来入児保護者会	丸子北小・依田保・長瀬保・その他の幼保	幼保 小	・来入児の保護者が小学校の生活の様子、年間計画、入学に向けての準備等についての説明を受け、保護者会を結成した。保護者同士が交流する機会ともなった。
9月26日	中学校文化祭見学	丸子北中・丸子北小・塩川小(6年生)	小中	・小学校6年生が中学校の文化祭を見学した。中学校生活への希望や期待感を高めることのできる機会となった。見学してもらう内容を見直しながら、今後も継続していきたい。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
10月	小学校音楽会練習参観	丸子北小・塩川小・依田保・長瀬保・塩川保・ちぐさ幼	幼保 小	・丸子北小と塩川小のそれぞれで、園児を招待し、音楽会のステージ練習の様子を見学してもらった。園児は小学校の行事に関心をもち、入学への期待感を高めることができた。小学生にとっても見てもらうことで、本番への緊張感を高めることができた。
10月29日	来入児保護者会	丸子北小・依田保・長瀬保・その他の幼保	幼保 小	・保護者へは小学校生活に関する説明を行い、児童は諸検査を行った。検査の様子から、個々の児童の特性をつかむことができ、入学後の支援計画の資料とすることができた。
10月30日 2月5日	小中連絡会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・中学校へ入学予定の児童についての情報交換会を行った。特別な配慮が必要な児童についての支援方法等を細かく確認しあうことができた。
11月～12月	1年授業参観・交流活動	丸子北小(1年生)・依田保・長瀬保	保 小	・年長児が1年生の授業を参観したり、1年生と一緒に遊んだりすることで、小学校生活の様子を理解し、生活の楽しさを味わうことができた。小学生にとってもお兄さんお姉さんになる自覚を強くもつことができた。
11月12日	丸子北中学校区人権同和研修会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・丸子北小を会場とし、授業参観と研究会を通して、人権同和教育に関する授業内容や指導法について多くのことを学ぶことができた。
11月26日	特支5年生学校見学	丸子北中・丸子北小・塩川小(特別支援学級)	小中	・中学校の特別支援学級の授業を実際に体験することで、中学校の授業の様子を理解し、入学への見通しをもつことができた。
12月10日	特支6年生体験入学	丸子北中・塩川小・丸子北小(特別支援学級)	小中	・児童が安心して小学校に入学できるように、中学校の特別支援学級の授業の様子や学校内を見学したりした。親子ともに入学後の見通しをもつことができた。
1月～2月	塩川小・丸子北小・幼保小連絡会	丸子北小・依田保・長瀬保・塩川小・塩川保・ちぐさ幼	幼保 小	・小学校へ入学予定の園児についての情報交換会を行った。特別な配慮が必要な園児についての支援方法等を細かく確認しあうことができた。
1月16日	丸子北中体験入学・保護者説明会	丸子北中・丸子北小・塩川小	小中	・入学予定の児童に中学校の授業を実際に体験してもらったり、中学校の生活についての紹介を聞いたり見たりしてもらった。児童にとっては、中学校生活への不安や心配ごとを解消し、入学への期待感を高める機会となった。保護者へも中学校生活の説明を行い、中学校生活への見通しをもていただいた。
1月	来入児保護者会	丸子北小・依田保・長瀬保・その他の幼保	幼保 小	・保護者へは入学に関する説明会を行った。保護者は小学校の生活に見通しと安心感をもつことができた。
2月	来入児保護者会・来入児一日入学	塩川小・塩川保・ちぐさ幼・その他の幼保	幼保 小	・保護者へは入学に関する説明会を行った。来入児と小学校5年生と交流活動はインフルエンザ流行の為、今年度は行うことができなかった。。
3月	来入児給食見学	塩川小・塩川保・ちぐさ幼	幼保 小	・小学校へのよりスムーズな移行ができるように、小学1年生が給食の配膳をする様子を見学に来る計画が進んでいる。

## 令和7年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	菅平中・真田中区			
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容	成 果
5月12日 9月5日	真田支会学年会・部会	長小、傍陽小、本原小 真田中、菅平小・中	小 中	○同学年会、各専門部会の開催 ・各学年会、部会、委員会に分かれ、真田地区児童生徒の健全育成を目指して、情報交換や指導改善に向けた話し合いを行い、各校の状況を知り、実践から学ぶ機会となった。
5月24日 6月1日 6月6日	小学校運動会への 来入児の参加 (かざぐるま拾い)	傍陽小:そえひ保、いずみ幼他 本原小:さなだ保、いずみ幼他 菅平小:すがだいら保	幼 保	<傍陽小:運動会に来入児を招待し、かざぐるま拾いを実施した> <本原小:運動会に来入児を招待し、かざぐるま拾いを実施した> <菅平小:来入児が運動会の様子を見学、種目への参加をすることで小学校への期待をもってもらうことができた。>
6月18日 6月17日 5月13日 6月3日	幼保小連絡会①	長 小:さなだ保 他 本原小:さなだ保、いずみ幼他 傍陽小:そえひ保、いずみ幼他 菅平小:すがだいら保	幼 保	○今年度の活動と来年度の方向、児童の情報交換 ・1年生の児童の学校での様子を知っていただき、幼保時代の情報を伝えることができた。
7月22日	交流活動(菅平小)	菅平小(1年) すがだいら保	保	○菅平小1年児童とすがだいら保育園年長児とが、お店屋さんごっこや鬼ごっこなどを通して交流を深めた。次回の交流に向けて顔合わせができた。
9月4日・8日	真田中との交流	真田中(2年) さなだ保	保	○家庭科の保育実習の授業として、真田中2学年と3歳以上児で交流を行う。各年齢ごとの活動に参加。短時間であったが、幼児期の子ども達との関わりが持てた。
8月20日	小学校職員 保育体験研修	傍陽小、そえひ保	保	○保育体験と園児の様子観察 ・半日という短い時間ではあったが、保育体験をさせていただき、その中で、保育園の子どもに対する接し方等を学んだり、子どもたちの様子を知ったりすることができた。
9月17日	交流活動(本原小) (来入児保護者会時)	本原小(1、5年) いずみ幼 さなだ保 他	幼 保	○諸検査時の5年生との交流 ・検査待ち時間に、5年生が折り紙や読み聞かせしたり、検査会場への案内をししたりして、来入児が安心して検査を受けられるようにした。
9月30日	交流活動(傍陽小) (来入児保護者会時)	傍陽小(5年) そえひ保、いずみ幼、 来入児とその保護者	幼 保	○諸検査時の5年生との交流 ・検査待ち時間に、5年生が読み聞かせしたり、検査会場への案内をししたりして、来入児が安心して検査を受けられるようにした。

時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果	
10月2日～3日	音楽会・文化祭(菅平小・中)	菅平小・中	小 中	○音楽会は小中合同で開催、文化祭は一部小学校が参加して開催し、小中で協力して児童生徒が主体となって創りあげた全校行事となった。
10月30日	交流活動(菅平中)	菅平中(3年) すがだいら保	中	○中学生が園児に絵本の読み聞かせをしたり、運動会練習を一緒にしたりした。相手意識を高める学びができた。
11月18日	来入児保護者会① 入学前検査	菅平小 すがだいら保育園来入児 来入児保護者	保	○来入児保護者会、来入児の入学前検査 ・保護者には、小学校の様子や事務手続き等を伝え、理解していただくことができた。来入児の検査時の様子や結果から、来入児への理解を深めることができた。
11月19日	来入児保護者会① 来入児発達検査	長小 さなだ保育園、そえひ保育園、 いずみ幼稚園、来入児 来入児保護者	幼 保	○来入児保護者会、来入児発達検査 保護者の方には小学校の様子や事務手続き等をお伝えし理解していただくことができた。来入児の検査児の様子や結果から来入児への理解を深めることができた。
11月19日	来入児交流(本原小)	本原小(1年) さなだ保 いずみ幼	幼 保	○1年生と園の年長さんと『なかよし交流会』を行った。 年長さんを小学校に招待して、勉強のことを教えたり、学校を案内したり、あさがおの種をプレゼントしたりした。
12月1日	真田中学校小中連絡会①	長小、傍陽小、本原小 真田中	小 中	○現6年生担任、特別支援学級担任等による情報交換 ○新1年生学級編制点の説明 ・個別の配慮を要する児童や、入学後に注視が必要な児童について、情報を共有できた。 ・次年度1年生学級編制の手順や留意点について、小中学校の職員の共通認識が図られた。
1月7日	県中スキー壮行会	菅平小・中	小 中	○スキー大会壮行応援 ・県中スキー大会に参加をする中学生の選手を、スキー活動を行っている小学校4年生から6年生の児童と大会に参加をしない中学生で応援し、地元のスキー関係者の方々からも激励の言葉をいただいた。
1月16日	保護者会 (本原小)	本原小(1年) さなだ保 そえひ保	保	保護者会を実施。入学に向けての説明、物品の購入をおこなった。
1月16日	来入児保護者会② 体験入学	菅平小 すがだいら保育園来入児 来入児保護者	保	○来入児保護者会、来入児の体験(校舎案内と1年生との交流)、給食着・運動着の採寸

時 期	交 流 事 業 名	対 象 園 校 名 (学 年、組 等)	内 容	成 果
1月28日	全中スキー壮行会	菅平小・中	小中	○スキー大会壮行応援 ・全中スキー大会に参加をする中学生の選手を、スキー活動を行っている小学校4年生から6年生の児童と大会に参加をしない中学生で応援し、地元のスキー関係者の方々からも激励の言葉をいただいた。今年度はアルペン競技で3名、ジャンプ(コンバインド含む)競技で5名、クロスカントリースキー競技で1名の出場を決めた。
1月27日	来入児保護者会	傍陽小 来入児保護者	幼保	○来入児保護者会を実施。入学に向けての説明を行った。
2月5日	真田中学校小中連絡会②	長小、傍陽小、本原小 真田中	小中	○次年度新1年生学級編制の結果確認と個別の情報交換 ・中学校で行った学級編制の結果を小学校に確認してもらうことで、中学校では捉えにくい児童の実態を新入生の学級編制に反映させることができた。
2月13日	真田中学校 中学校体験授業 新入生説明会	長小、傍陽小、本原小 真田中	小中	○次年度新入学する6年生及び保護者による中学校の授業参観と中学校説明会 ・中学校での授業の様子、学校運営や授業、生活についての説明や質疑を通して、今何が行われ、どの方向に進もうとしているのかを保護者に理解していただくと共に、4月からのスタートを円滑に行えるように中学生に直接質問することで、共通理解ができた。
2月3日	中学校説明会	菅平小・中	小中	○次年度新入学する6年生及び保護者への中学校説明会 ・中学校での授業の様子、学校運営や授業、生活についての説明や質疑を通して、今何が行われ、どの方向に進もうとしているのかを保護者に理解していただき、4月からのスタートを円滑に行えるように配慮した。
2月19日	来入児保護者会 交流活動(長小)	長小(1年) さなだ保育園、いずみ幼稚園、 来入児保護者	幼保	○「1年生による学校案内」 ○「1年生と学習体験」 ○入学式までの準備、入学式のこと、入学後の生活について、保険についての説明wOした。
1月9日 2月24日 2月16日 1月29日	幼保小連絡会②	菅平小:すがだいら保 長小:さなだ保、いずみ幼他 傍陽小:そえひ保、いずみ幼他 本原小:さなだ保、いずみ幼他	幼保	○今年度の活動反省と来年度の日程等の確認、入学式の打ち合わせ、児童の情報交換 ・新入生の円滑な受け入れのための情報交換等を実施。

## 令和7年度ブロック内の交流事業等について

ブロック名	依田窪南部中学校区		
時 期	交 流 事 業 名	対象園校名(学年、組等)	内 容 と 成 果
8月21日	保育園研修	依田窪南部中 武石小 武石保	中 中学生と異なる年齢の子どもと接することで、生徒たちの発達段階の姿やそれに応じた対応などを研修することができた。
			小 小学校入学前の園児の様子を参観するとともに、武石地域の子ども達の発達段階に応じた園での対応を知る機会となった。来入児の就学前担当と入学にむけて、小学校でも情報共有することができた。
7月30日	来入児参観	武石小職員 武石保	小 小学校来入児担当と教頭、特別支援教育コーディネーターが武石保育園を訪問し、年長児クラスの参観をした。年長児についての情報は後日会議を行った。また支援の必要な子どもについては随時情報交換をし、移行支援会議を行った。入学前に準備ができありがたい。
			幼保 普段の子どもの様子や支援の必要な子どもを見てもらうことにより、小学校職員の理解が深まり、安心してスムーズに小学校生活へ移行できそうである。
7月8日,15日	プール開放	武石小 武石保	保 小学校のプールを借りて水遊びを楽しむことができた。広く大きなプールで子どもたちは自信をつけ楽しく泳ぎ、小学校への期待を膨らませることができた。
6月13日 10月29日 1月29日	音楽会 前半参加 発達検査時の交流 1日入学	武石小全校 2年生 5年生 来入児全員	小 来年度入学する子どもたちと親しみ、迎える心の準備をしたり、優しく親切に接したりすることができた。相手を思いやり、自分はどんな風にしてあげられるか考え、行動に移すことができる、という目的を十分達成することができた。5年生は来年度になったら、姉妹学級として関わりがあるため、一人ひとりが担当する園児に優しく接する姿が見られた。
			保 学校を案内してもらったり、体育館でゲームをしたり、安心と学校に対する親しみを持つことができた。2年生・5年生と接し、楽しく遊ぶことができた。

時 期	交 流 事 業 名	対 象 園 校 名 (学 年、組 等)	内 容 と 成 果	
11月18日	焼き芋会	武石小1年生,2年生 武石保年長児	小	1,2年生が育てたサツマイモを焼き芋にするように濡れ新聞紙、アルミホイルで包むなどして用意した。焼き芋が焼けるのを待つ間のゲームを2年生が考えたり、贈り物にもなる折り紙の首飾りを作ったりして準備した。焼き芋ができると、ペアの年長児に焼き芋を渡したり、剥いてあげたりなどして、優しく接していた。1, 2年生の成長が感じられる交流だった。
			保	1,2年生が焼き芋の準備をしてくれて、園児は、焼けるのを待つ間に、校庭でゲームをして楽しくかかわりあうことができた。ペアの子どもと一緒に焼き芋を食べたり、話をしたりして交流した。双方、実りのある交流だった。
7月16日～18日	職場体験学習	依田窪南部中 武石小 武石保	幼 保 小 中	中学2年生が保育園と小学校で職場体験をした。